とうい たかみつ

かぶと

東井孝允(穴水町甲復興団 団長)

穴水町甲地区出身 都内Webメディア企業 株式会社メディア ジーン勤務

<u>被災体験の記事</u>の発信や、 地元への中長期支援を探っている。





東井孝允 [メディアジーン事業開発部門] (takamitsu_toi)

Business Insider Japanやギズモードなどを運営するメディアジーンに勤務し、事業開発を担当。



廃校小学校の絆が生んだ支援…能登を離れた私にできること【震災6カ月】

東井孝允 [メディアジーン事業開発部門] ① Jul. 01, 2024



能登・穴水町に70代の親を残し、東京に戻った私にできること。正月帰省中に被災

東井孝允 [メディアジーン事業開発部門] ② Jan. 11, 2024 📶 9,148

自己紹介:被災体験

1月1日 家族と穴水町に帰省中に被災。両親兄弟13人で高台の栗山に避難し車中泊。

2日 昼に車で出発し金沢に深夜到着。(普段2時間の道を12時間かかり移動)

3日 昼に新幹線にて都内に移動。

2月 避難所支援

3月 自宅ゴミ出し手伝い

4月 炊き出し

5月 穴水町甲復興団立ち上げ

月1-2回帰省し、地域の公民館でカフェを開催。

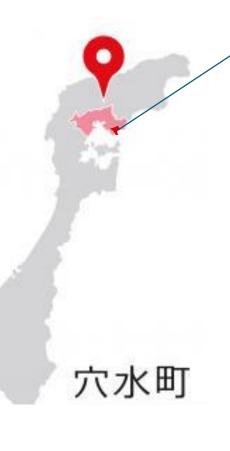








地元・穴水町甲地区の概要と被災状況



■ 穴水町 3,410世帯 / 6,945人 (今和6年10月現在)

∕■ 甲地区 (発災前)

世帯数:約165世帯/360人ほど

高齢化率:64.6%

(発災後)

世帯数:約130世帯/300人ほど

・自宅避難:約87世帯(67%)

・仮設住宅:23世帯(18%)

・空き家:約20世帯(15%)

震災と津波で甚大な被害。 商店2軒が解体、 郵便局と鮮魚店が閉鎖。







穴水町甲復興団の取り組み

発災後出身地の復旧復興のために作られた任意 団体。

メンバーは地元の同じ出身小学校の27名。 半分は地元、3割は金沢、2割は県外。 全員プロボノで参加している。

コミュニティ再生を目的にボラサポ助成を活用 しながら、現在毎月1回地元の公民館でカフェ 等を実施。







ボラサポ助成の使い道

主に以下に使用。

- ・交通費
- ・カフェ代
- ・備品代







企業との連携事例

連携事例1:ユニクロ 七尾店様



■実施概要

7月28日に甲復興力フェの催しの一環で衣類(夏服)の販売

- ■実施のきっかけ
- ・SNSでの出店チラシを見て電話で問い合わせ
- ・都内の担当部署とやり取り、打合せを経て出店





連携事例2:イオンエンターテイメント様



■実施概要

10月13日に甲復興力フェの一環で映画ドラえもんを上映

- ■実施のきっかけ
- ・知り合いより紹介の打診。地域側も要望が上がり実施。
- ・都内の担当部署と電話のやり取り、現地 下見を経て上映







子どもが集まる場所が無いから本当にありがたい。

他地区の同級生とお母さ んが集まれるきっかけを ありがとう。



今後の企業への期待

- ・10年20年単位の長期スパンでの復旧復興への伴走
- ・復旧復興のフェーズごとに多様な支援メニューの拡充



今後の地域の想定課題

- ・住宅関連 · · · 建築費の高騰、業者不足
- ・ 仕事・・・ 若者が戻れる仕事が無い、 スタートアップ企業がない
- ・健康福祉 · · · 被災生活で健康数値悪化、医療関係者が減っている
- ・宿泊場所・・・ボランティア、帰省者、旅行者の宿泊場所不足で復興が遅れる
- ・移動手段、2次交通・・・学校、習い事、病院、スーパーへの足が無い。支援に行きにくい
- エンタテイメント・・・被災生活疲れの息抜き、心のケア、生きがいづくり